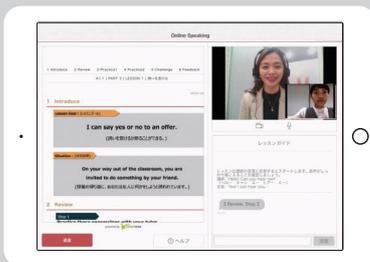


Asteria

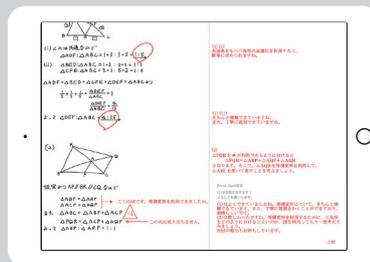
Z会アステリア

もっと先へ、高みへ、未来までつなぐ

学年の枠を超え、
自らの意欲・興味・達成度で
より高度な学習に挑戦できる、
iPadオンライン講座



英語4技能
講座



数学新系統
講座



総合探究
講座

【対象】
中学生・高校生～社会人

未来をひらくために、 いま必要なこと

時代の変化、そのうねりは大きく加速しています。

変わりゆく社会、その中でも変わらず持ち続け、

より一層育んでほしいのが「自立する力」。

将来を見据えた本物の知識と経験が、子どもたちの礎となる。

自ら思考し、学習者としてつねに探究心を持ち続けること。

それぞれの資質を磨きながら、社会に出たときに役立つ実感を届けたい。

Z会 Asteria は「テクノロジー」と「人」の融合で、

子どもたち一人ひとりの意欲や状況に合わせた新たな学習体験を提供し、

未来をひらく力を最大限まで引き出します。

活きた学びを体感する、まったく新しい通信教育をここから。

CONTENTS

英語4技能講座	4	【特集】受講生の声	32
数学新系統講座	14	学習スタイル	38
総合探究講座	22	よくある質問	40
Access Point [学習サポート]	30	お申し込みの流れ・受講料	42

Z会 Asteria の特長

「好きなときに」「好きなだけ」学習できる。
自宅での個人学習に最適なオンライン学習

得意な人はどんどん進められ、
苦手な人は何度でも立ち戻って復習できる

学校の勉強や部活で忙しいなど、
時間がない人でも、
Wi-Fi環境とiPad一台あれば、
ちょっとしたスキマ時間で学習ができる

受講者同士で
オンライン・ディスカッションする斬新な学びも。
「対話的な学び」をオンラインで実現



第14回 日本e-Learning大賞
経済産業大臣賞 受賞

「本当に使える英語」を身につける

英語4技能講座

聴く 読む 書く 話す

対象：中学生・高校生～社会人

こんな方に“おすすめ”します

学校の授業や進学塾などでは対策が行いにくい、英語の発信力を高めたい

学校の授業や進学塾で、「進度が遅い」「レベルがもの足りない」と感じている

海外大学／国際系大学・学部への進学、国内大進学後の海外留学などを希望している

帰国子女の方など海外在住経験があり、引き続き英語力を維持・向上したい

ビジネスや社会的活動において実践的・実用的な英語を身につけたい



※受講料に関しては、P36をご覧ください

言語指標「CEFR-J」に完全対応し、「テクノロジー」と「人によるサポート」が融合

※CEFR-Jについては、P12で詳しく紹介しています

学習の流れ

1 Training



一人ひとりに最適な問題を
次々に提示

**【最先端の教育テクノロジー】
アダプティブ・エンジン搭載
(米：Knewton, Inc.)**

一問ごとの解答の正誤や学習履歴、理解度などから学習者に合った問題が出題され、高い学習効果が期待できます。

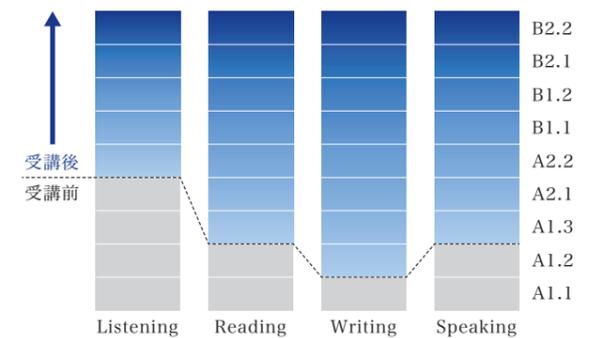
2 Brush Up



プロによるオンラインレッスン&
添削指導

日本人が弱いとされる英語での「発信力」を鍛えるため、スピーキングでは「外国人講師と1対1でのオンラインレッスン」、ライティングでは「英文の添削問題」を用意。自分の考えを話したり書いたりして表現し、個別指導を受けることで、より自然な表現を身につけることができます。

4技能すべてを、
“今のあなたのレベル”から
無理なく伸ばすことができます。



すべての技能を高めてこそ、本当に「使える英語」が身につきます。

Listening

特長

① “実生活”で出会う『聴く』場面を想定した出題

- ・アナウンスや指示を聞き取る
- ・映像とともに流れる音声を聞き取る など

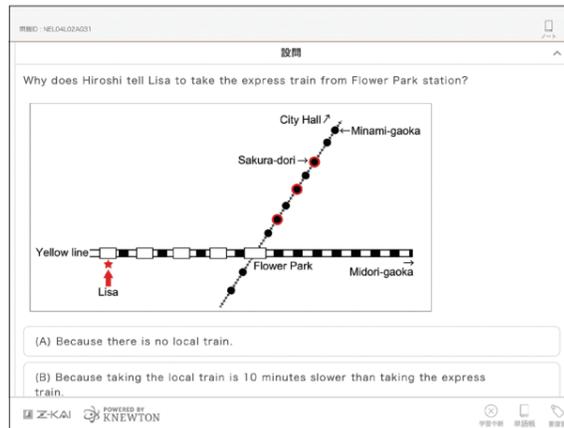
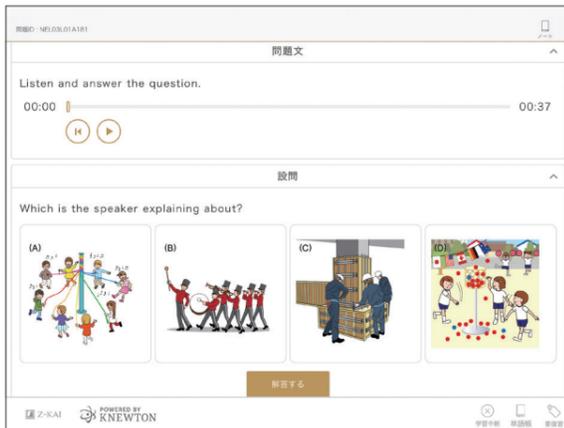
② 「実際に何かを聞いて考え行動する」際の判断基準となるような点について問いかける

- ・会話の流れや講義の骨子が理解できているか
- ・聞き慣れない語の意味を文脈から推測できるか

◎各技能は密接に関連しているので、しっかり「聴く」ことができると、しっかり「話す」ことができるようになります。

[Listening (聴く)] の学習では、音声を聞いて設問に答える「Training」に取り組みます。

※各技能とも、CEFR-Jの各レベルは複数のパート (Part1, Part2……) から構成されており、順に取り組んでいきます。



Reading

特長

① “実生活”で出会う『読む』場面を想定した出題

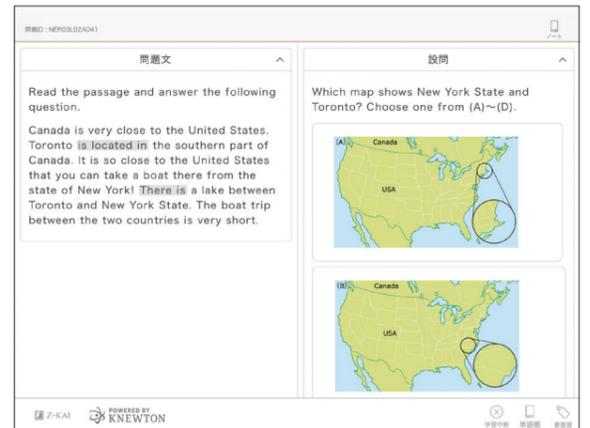
- ・説明や指示を読み取る
- ・物語の筋を追う など

② 「実際に何かを読んで考え行動する」際の判断基準となるような点について問いかける

- ・英文全体の流れが理解できているか
- ・見慣れない語の意味を文脈から推測できるか

◎実生活に合った題材を多く読み込むことにより、学校で習う単語や文法をより活かしたものへと発展させます。

[Reading (読む)] の学習では、英文を読んで設問に答える「Training」に取り組みます。



英語4技能講座の【Can-do】

学年や固定的なカリキュラムにとらわれることなく、技能ごとに今の「できること (Can-do)」のレベルにあわせて学習することで、「活きた」英語が使えるようになります。

各技能のCan-doの一例、出題例はWebサイトをご覧ください。
<https://www.zkai.co.jp/home/z-asteria/class/english/sample.html>



【Can-doの一例: Listening】

A1.1	・簡単な指示 (例: 「立って」「座って」「止まって」など) を理解する / 日常生活に使われる重要な情報 (例: 日付、曜日、数字、値段) を聞き取る
A1.2	・身近なトピック (例: 趣味やスポーツ) についての短い話を理解する / 身近な話の中で、具体的な情報 (例: 場所、時間) を聞き取る
A1.3	・自分と関連する事柄 (例: 家族、学校、地域) についての句や表現を理解する / 簡単な用事 (例: 買い物、外食) に必要な説明を理解する
A2.1	・公共交通機関の短い簡潔なアナウンスを理解する / 具体的な指示や説明 (例: 学校の宿題、旅程) を理解する
A2.2	・一連の行動の指示 (例: スポーツ、料理、工作) を理解し、その通りに行動する
B1.1	・事実を伝える話の説明 (例: 外国の行事、習慣) の概要を理解する / 長めの議論の概要を理解する
B1.2	・自然な速さで話された録音や放送 (例: 天気予報、アナウンス) から、自分に関係のある具体的な情報の大部分を理解する ・自然な速さで話された、身近なトピックについてのラジオニュースの要点を理解する
B2.1	・自然な速さで話された、テレビやラジオ、映画の会話の要点を理解する / 身近なトピック (例: 複雑な議論、長い話、講義) の流れを理解する
B2.2	・ネイティブスピーカー同士の多様な会話の流れを理解する / 社会問題や専門分野のトピックについて、話し手の意図を理解する

英語4技能講座の【学習量】

- 学習の目安: 週1~2時間の学習を3~4ヵ月続け、4技能すべてでCEFR-Jのレベルを1つ上げるペースが目安です。
※学習レベル・達成度により、取り組むTrainingの問題数やレベルアップまでの時間は異なります。
- 各技能のパート数や、添削問題、オンラインレッスンの数は下記をご覧ください。豊富な問題数で着実に力をつけていきます。

数字はパート数、Brush Upについては上段がパート数、下段が添削問題数またはレッスン数。

CEFR-J	A1.1	A1.2	A1.3	A2.1	A2.2	B1.1	B1.2	B2.1	B2.2
Listening (Training)	5	4	4	5	5	5	5	6	5
Reading (Training)	4	4	4	6	6	6	5	5	5
Writing (Training)	3	4	4	6	7	7	-	-	-
Brush Up (添削問題)	3 6課題	4 8課題	4 8課題	6 12課題	7 14課題	7 14課題	5 20課題	3 12課題	7 28課題
Speaking (Training)	4	4	4	6	6	6	-	-	-
Brush Up (Online Speaking)	4 16レッスン	4 16レッスン	4 16レッスン	6 24レッスン	6 24レッスン	6 24レッスン	3 12レッスン	4 16レッスン	2 8レッスン

Writing

特長

① “実生活”で出合う『書く』場面を想定した出題

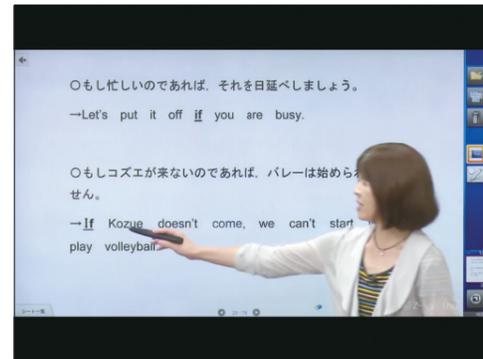
- ・メールや手紙を書く
- ・アンケートを作成する など

② その過程で必要になる、文法事項を学習

- ・「文法は習ったけれど使えない」という事態に陥らない

◎ CEFR-Jの上位レベルでは、エッセイライティングを基礎から丁寧に学ぶことができます。

[Writing (書く)] の学習では、英文を書く練習にあたる「**Training**」を完了させたら、添削問題にあたる「**Brush Up**」に取り組みます。



毎回のパートに必要な文法事項を「映像講義」を通して学んでいきますので、「活かした」「使える」文法として定着します。

英語4技能講座で扱う【範囲】

技能ごとに「中学～大学生・社会人レベルの英語力」を身につけることができます。市販の問題集や英会話教室で英語を学習すると、右記のように何冊もこなさないといけません、Asteriaなら『英語4技能講座』ひとつですべてが完結でき、とても効率的です。

- 市販の問題集 (長文読解)
- 市販の問題集 (リスニング) ▶
- 市販の問題集 (英作文)
- 英会話教室 ▶
- Asteria ▶

Speaking

特長

① “実生活”で出合う『話す』場面を想定した出題

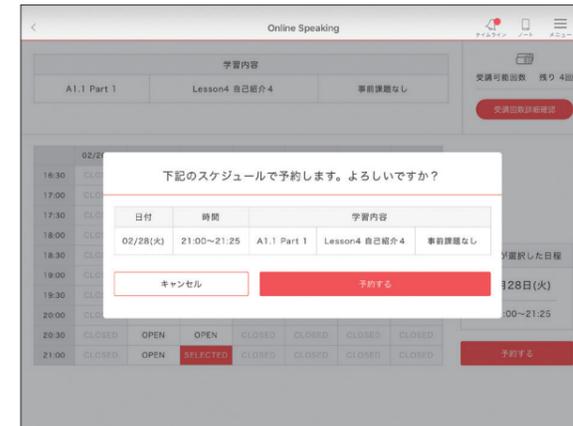
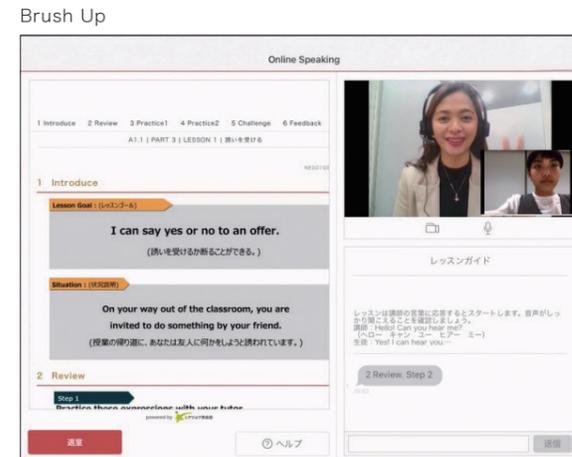
- ・学校や職場でのやりとり
- ・店や公共交通機関、電話でのやりとり など

② 音声認識エンジンで発音を確認

③ 外国人講師とのオンラインレッスンで実践

◎ 多くの発話練習と実践的なオンラインスピーキングを通して「話す力」が身につきます。

[Speaking (話す)] の学習では、練習問題にあたる iPad に向かって発音する個人学習の「**Training**」を完了させたら、外国人講師とのオンラインレッスン「**Brush Up**」に進みます。



「オンラインレッスン」は、レッスン実施日の前日までに希望日時をスケジュール表から選んで予約します。1回のレッスンは約25分。月曜～土曜の16:30～21:30の時間帯(日本時間)で受講することができます。

中学 (基礎～発展)			高校 (基礎～発展)			大学入試 (センター試験～難関大個別試験)		
基礎	標準	発展	基礎	標準	発展	基礎	標準	発展
日常基礎			日常標準					
中学範囲 ～ 高校範囲 ～ 大学入試 ～ 大学生・社会人レベル								

一人ひとりが自由に組み立てる、新しい学習のカタチ

[英語4技能講座]

技能ごとに自分に合ったレベルから学習を始められるので、“学び初め”から“高いレベルの英語力の維持”まで幅広い学びに対応。いつ、どのレベルから始めても確実に英語の力を伸ばすことができます。

case 1 4技能の力を着実に積み上げたい

オンラインレッスン (Speaking) の予約から、ペースを作る

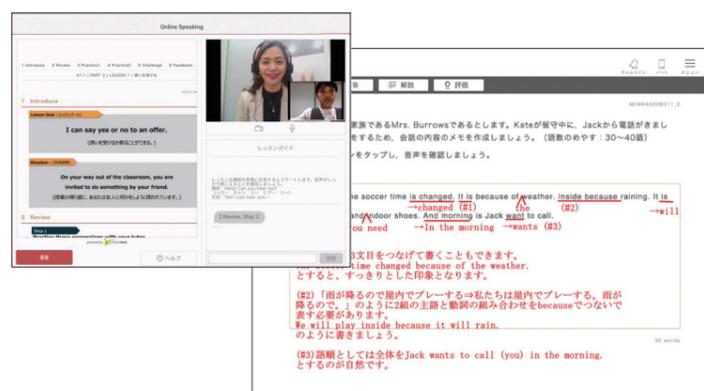
まずはレッスン受講の曜日や時間帯を決めて予約をすることで、自分なりの学習ペースが身についていきます。

レッスン番号	Part	学習内容	状況	レポート
B1.1	Part 5	Lesson4 最も大きな変化	予約する	
B1.1	Part 5	Lesson3 身体と食事	予約する	
B1.1	Part 5	Lesson2 最も美しい場所	予約する	
B1.1	Part 5	Lesson1 Mozart effectについて	予約する	
B1.1	Part 4	Lesson4 車の紹介	予約する	
B1.1	Part 4	Lesson3 学校外の印象的な出来事	予約する	
B1.1	Part 4	Lesson2 カンニング	予約する	
B1.1	Part 4	Lesson1 音楽 - 運動	予約する	

各技能の Training に取り組み、間違えた問題は解説や全訳をチェック



オンラインレッスンと記述式添削問題の「Brush Up」で、積み上げた力を試す

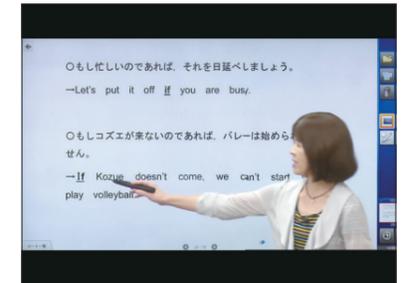


case 2 文法を確認しながら、書く力をつけたい

映像講義でウォーミングアップ

※ Writing の Training には映像講義がついています

5～10分のポイントが凝縮された映像講義によって、英語で自分の気持ちや考えを表現する際の、有効な書き方や文法について理解が深められます。



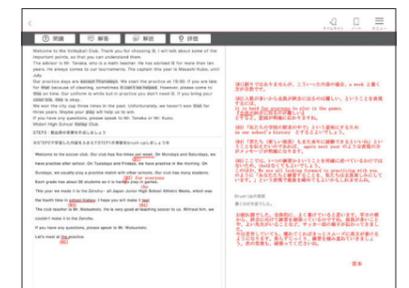
Training に取り組む

アダプティブ・エンジンにより、そのパートの理解が十分に得られるまで、最適な課題(適した問題や映像講義)が提示され続けます。



「Brush Up」で、書く力に磨きをかける

「Brush Up」では、Z会の添削指導者による添削指導を受けることができます。客観的な指導を受けることで、自分では気づきにくい誤りや傾向がわかり、英文作成力が高まります。また、第三者を意識して英文を書くことにより、一人では身につけにくい表現力が鍛えられます。



case 3 苦手分野をどうしても克服したい

一度解いた問題を、何度も復習

Training → Brush Up の通常学習に加えて、リスト化された「Training 一覧」「映像講義一覧」「Brush Up 一覧」を苦手分野の重点復習に活用することができます。Listening や Reading は「全訳」や「単語帳」も確認しながら、あいまいなところを解消していくのがオススメです。

※「Training 一覧」には一度 Training で取り組んだ問題が、「Brush Up 一覧」には学習済みまたは学習中のレベルの Brush Up が表示されます。

科目	学習日時	学習時間	レベル	パート	問題ID	学習状況	全訳
Listening	2017/12/08 14:28:48	10分	A2.1	Part 1	NEWS020101	完了	あり
Reading	2017/12/08 14:29:31	10分	A2.1	Part 1	NEWS020112	完了	あり
Writing	2017/12/08 14:29:23	10分	A2.1	Part 1	NEWS020201	完了	あり
Speaking	2017/12/02 14:31:16	10分	A2.1	Part 1	NEWS020111	完了	あり
Listening	2017/12/02 14:27:35	10分	A2.1	Part 1	NEWS020121	完了	あり
Reading	2017/12/02 14:27:07	10分	A2.1	Part 1	NEWS020114	完了	あり
Writing	2017/12/02 14:28:17	10分	A2.1	Part 1	NEWS020105	完了	あり
Speaking	2017/12/02 14:28:31	10分	A2.1	Part 1	NEWS020102	完了	あり
Listening	2017/12/02 14:28:35	10分	A2.1	Part 1	NEWS020108	完了	あり
Reading	2017/12/02 14:21:29	10分	A2.1	Part 1	NEWS020103	完了	あり
Writing	2017/12/02 14:20:45	10分	A2.1	Part 1	NEWS020109	完了	あり
Speaking	2017/12/02 14:19:07	10分	A2.1	Part 1	NEWS020123	完了	あり
Listening	2017/12/02 14:17:06	10分	A2.1	Part 1	NEWS020104	完了	あり
Reading	2017/12/02 14:16:09	10分	A2.1	Part 1	NEWS020127	完了	あり

Z会 Asteria は日本で初めて、 セファール「CEFR-J」に完全対応

言語能力の国際標準規格「CEFR」とは

CEFR (Common European Framework of Reference for Languages/ ヨーロッパ言語共通参照枠) とは、「その言語を使って何ができるか」という、言語能力の熟達度を測る国際的な尺度です。例えば、「私は英語はCEFR B1、フランス語はA2、ドイツ語はA1です。」と言うと、それぞれの言語がどれくらい使えるのか相手に伝わります。国境を越えた就職など人々の流動性が高く、第3外国語で仕事することも珍しくないヨーロッパでは日常的に使われています。情報や人のシームレスな移動によって多言語・多民族・多文化化していく世界では、複数の言語を共通の軸で見渡す考え方はますます重要になっていくでしょう。

Proficient User 【熟達した使用者】 様々な状況で英語を意のままに用いることができ、場面に合った言葉づかいや文体を選択できる。	C2
	C1
Independent User 【自立した使用者】 日常生活や学習、仕事などで必要な英語を理解し、ある程度流暢に自分を表現することができる。	B2
	B1
Basic User 【基礎段階の使用者】 身近なことやなじみのあるトピックであれば、日常生活で使われる英語を理解し、用いることができる。	A2
	A1

※CEFRのレベルを示す表現は、Z会グループ「Z会ソリューションズ」の定義によるものです。

CEFR	CEFR-J
B2	B2.2
	B2.1
B1	B1.2
	B1.1
A2	A2.2
	A2.1
	A1.3
A1	A1.2
	A1.1
	PreA1

投野 由紀夫 教授
(東京外国語大学)を中心に、
CEFRを日本の英語教育の
実情に合うように細分化

CEFR基準で日本人の英語力を測った場合、現状、大学卒業後も80%がA1・A2レベルにとどまっており、特に【Writing (書く)】【Speaking (話す)】の発信技能はA1レベルに集中していると言われています。さらに、英語教育の実情にあてはめると、CEFRレベルを1つ上げるのに複数年を要するので、同じレベルでもばらつきが大きく、到達点が見えづらくなってしまいます。このような状況を鑑み、投野 由紀夫 教授 (東京外国語大学) が中心となって、CEFRに準拠しながらもより日本人の英語学習に適した「CEFR-J」という指標が開発されました。

これからの社会では、英語を自らのことばとして自在に使いこなせる力が求められます。英語4技能講座では、世界中で使われている言語指標CEFRを更に日本人の英語学習に特化させた「CEFR-J」を日本全国で初採用。「聴く」「読む」「書く」「話す」の技能ごとに何ができるかを知り、できることが増えていく喜びを感じながら学習を進めていける、これまでに無い全く新しい英語教材です。

英語教育が 激変する時代に、 ふさわしい学びとは

監修者

投野 由紀夫 教授 (東京外国語大学)

東京外国語大学大学院総合国際学研究院教授。英国ランカスター大学で、博士号(コーパス言語学)を取得。コーパス言語学を応用した語彙習得プロセスや言語習得モデルを研究。「その言語を使って何ができるか」を測る、言語能力の国際的な尺度であるCEFRを、日本の英語教育に応用すべく、CEFR-Jを開発。



今までの日本の英語教育では、英語は受験のための科目になりがちで、「大学に入ってから使えるスキルを育てる」という視点が抜けていました。そのため大学を出た人でも、国際標準であるCEFRでいうと、一番下のレベルの力しかないのです。本来、英語の学習では、文法や単語を覚えたなら、それを言葉としてどのように使えるかということが重要ですが、覚えたことを実際に使える力がつけられていなかったのです。

グローバル化が進み、日本も多言語多文化社会になっていくことが予測される中、生きていくための力としての英語力が強調され、2021年度からの大学入試でも4技能を測る方向で検討がされています。大学入試が変わることで、中学・高校での英語の授業も変わっていくでしょう。

Asteriaは今、世界中で使われているCEFRをもとにした日本初の教材であること、さらに4技能に対応しているところが強みですね。進行形ingを習ったら、穴埋め問題をして終わるのではなく、目の前で起こっていることを実況中継する時に使えるというような、実際に使う場面につなげていくことで、実際に使える力をつけていきます。CEFRをもとにしているのも、学年や学校という枠を越えて幅広く応用が効き、非常に効果が高いと思います。

英語というのは言葉なので、勉強した後に言葉として何かが残っていてほしいなと思うんです。できれば、みなさんがこれから生きていくのに役立つものが残っていてほしいというのが、私の願いです。「役立つ何かを残す」には、英語を使う目的にあわせて学習を進めて力をつけながら、到達点を自分なりにイメージしていくことが大事だと思います。そういった学習をAsteriaを使って始めていき、本当の英語力が身についたら、自立した学習者として、さらに深く自分自身で学んでいって欲しいと思います。

本当の「数学の学び方」を身につける

数学新系統講座

代数 解析 幾何 統計

対象：中学生・高校生

こんな方に“おすすめ”します

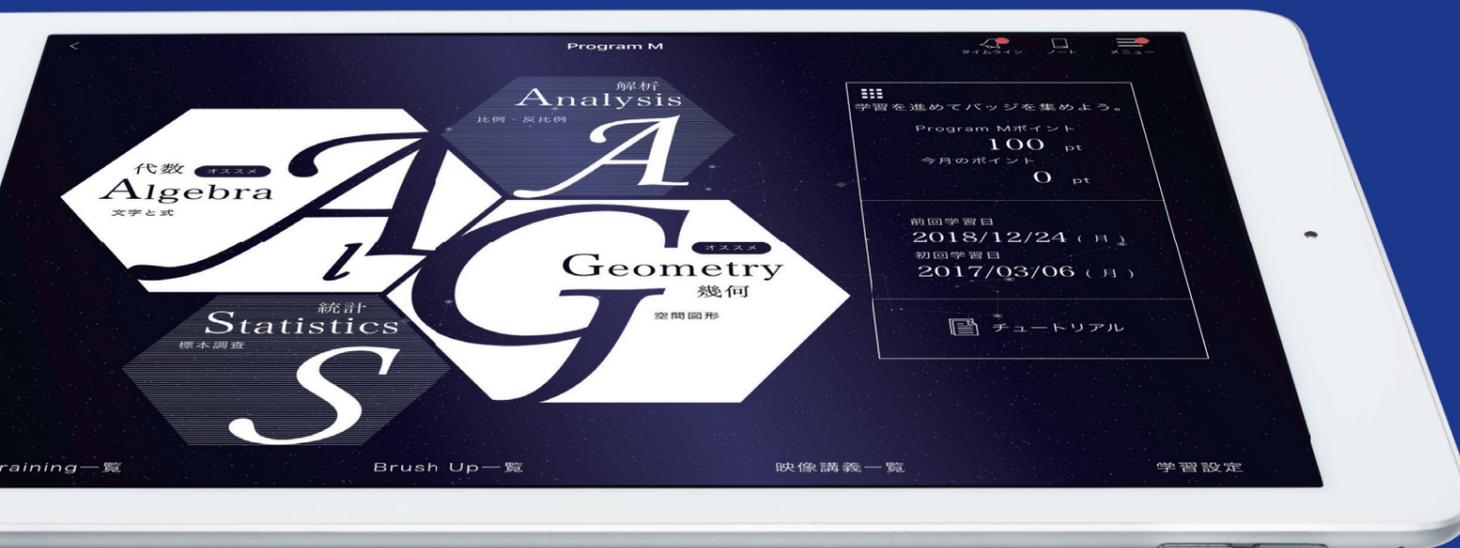
一般的な学習課程にとらわれず、体系的、効率的に学び、数学の本質に迫りたい

カリキュラムにとらわれず分野横断的な問題に取り組みたい

学問としての追求だけでなく、数学を用いた問題解決力を身につけたい

入試で問われる数学力はもちろん、より本質的な思考力を身につけたい

数学的思考力を身につけて、将来、社会やビジネスで活躍したい

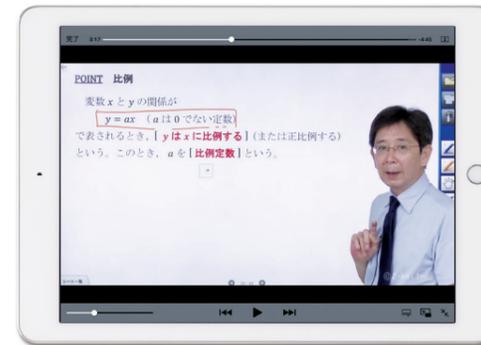


※受講料に関しては、P36をご覧ください

Asteria独自の綿密な「講座設計」と、「テクノロジー」「人によるサポート」が融合

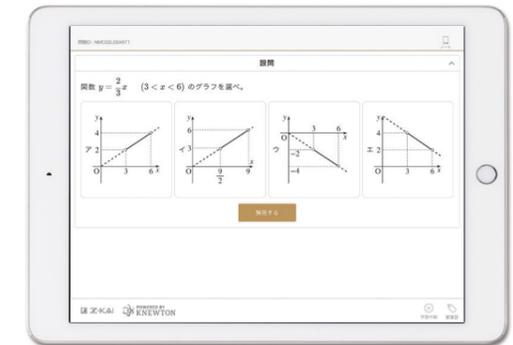
学習の流れ

1 映像講義



5～10分のポイント講義が約700本
単元の学習に不可欠な「要点」を凝縮した映像授業で、理解を深めることができます。

2 Training

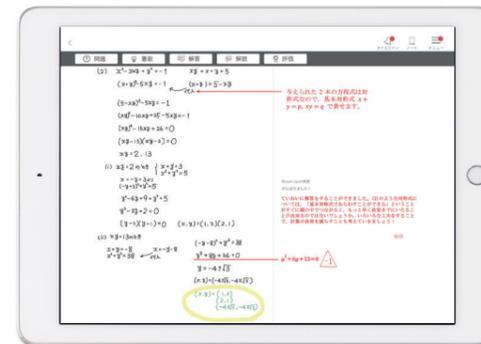


理解できるまで徹底演習

アダプティブ・エンジン搭載

一問ごとに解答を分析し、即座に次の最適な課題を提示します。

3 Brush Up



プロによる添削指導

答案作成→提出→返却→復習する、がiPad上で完結。時期に関係なく何単元でも提出できます。

「1 → 2 → 3」を繰り返すことで、
自然と自立的な学び方が確立され、
『一段高い数学力』すなわち
“究極の応用力”が獲得できます。

関連性の高い単元を 連続して学べるカリキュラム設計

数学新系統講座では、数学を4つの領域「代数(数や式)」「解析(関数や微積分)」「幾何(図形)」「統計」に分けており、学年、学校のカリキュラムにしばられることなく学習を進めていきます。分野間の関連性や類似性を整理し、知識どうしを関連付けて理解していくことで、学習効率が高くなるだけでなく、融合問題や総合問題への対応力が鍛えられ、一段高い数学力を得ることができるのです。

代数

家から 1600m 離れた駅に行くのに、はじめは毎分 50m の速さで歩いていたが、途中で遅れそうに思ったので、速さを毎分 60m に変えたところ、家を出てから 30 分後に駅に着いた。

毎分 50m で歩いた時間と、毎分 60m で歩いた時間をそれぞれ求めよう。

毎分 50m で歩いた時間を x 分、毎分 60m で歩いた時間を y 分とする。

家から駅まで 30 分かかったことから、 x 、 y の関係を式で表すと

(1)

歩いた距離が 1600m であることから、 x 、 y の関係を式で表すと

(2)

これを解くと、求める時間は

(3)

空欄にあてはまるものを、それぞれ、次の選択肢から選べ。

(1)の選択肢

ア： $x - y = 30$

解析

次の 2 次関数のグラフをかけ。

$$y = -x^2 - 2x + 3$$

解答欄には「解答する」ボタンがある。

幾何

AB < AD である平行四辺形 ABCD において、 $\angle BAD$ の二等分線と辺 BC との交点を E とする。このとき、 $BE = CD$ となることを証明せよ。

△ABE において

AD//BC より、 $\angle BEA =$ (選択してください)

よって

仮定より、 $\angle BAE =$ (選択してください)

平行四辺形の対辺は等しいから、 $CD =$ (選択してください)

また、平行四辺形 ABCD において

平行四辺形の対角は等しいから

統計

3 地点 A、B、C で、8 月における日ごとの最高気温を調べ、そのデータを次のように箱ひげ図にまとめた。

この箱ひげ図から読み取れることとして、正しいものをすべて選べ。

ア：この3地点の中で、8月に36℃をこえる気温を記録した地点はない。

イ：この3地点の中で、最高気温の散らばりの度合いが最も小さいのはC地点である。

ウ：A地点よりB地点の方が、最高気温が高い傾向がある。

エ：A地点よりB地点の方が、最高気温の散らばりの度合いが小さい。

Asteria 独自のカリキュラム (学習指導要領との対応表)

代数	正の数・負の数 中1	文字と式 中1 (中2含む)	1次方程式 中1	連立方程式 中2	1次不等式 数学I	式の計算 中3 (数学I含む)	数と式 数学I (数学II含む)	平方根 中3	2次方程式 中3 (数学I含む)	2次不等式 数学I	集合と論理 数学I	対称式・交代式 ★	絶対値 記号の扱い ★	解の性質 ★	恒等式、 整式の除法、 分式 数学II	剰余の定理、 因数定理 数学II	複素数と 方程式 数学II	等式・ 不等式の 証明 数学II	整数の性質 数学A	二項定理 数学II	数列 数学B												
解析		座標平面 中1	比例・反比例 中1	1次関数 中2					2乗に 比例する 関数 中3	2次関数 数学I	2次関数の 応用 数学I		関数の 扱い ★				三角関数 数学II		指数関数・ 対数関数 数学II	多項式 関数の 微分法 数学II	多項式 関数の 積分法 数学II	極限 数学III	いろいろな 関数の 微分法 数学III	媒介変数 表示された 関数、陰関数 の微分法 数学III	いろいろな 関数の 積分法 数学III	速度、 加速度、 道のり 数学III	連続性 数学III (高校範囲外 を含む)						
幾何	平面図形 中1	空間図形 中1		平面図形と角 中2	三角形と 四角形 中2			平行線と比 中3	メネラウスの 定理・チェバ の定理 数学A	相似 中3	円 中3 (数学A含む)	三平方の 定理 中3	円と 三平方の 定理 中3	空間図形と 三平方の 定理 中3		三角比 数学I		図形と 方程式 数学II	平面ベクトル 数学B	空間ベクトル 数学B		複素数平面 数学III	2次曲線 数学III										
統計				資料の整理 中1					標本調査 中3		場合の数 数学A (中2含む)	確率 数学A (中2含む)		データの 分析 数学I							確率と数列 数学A および数学B		確率分布と 推定 数学B										

日本の中学・高校における数学教育は、学年ごとに決められた単元を順に学ぶ形がほとんど。しかし、実際の学習場面を考えると、図の赤枠のように分野間の関連性の高いものは、あえて学習指導要領とは違ったカリキュラムで学べるように講座を設計し、学習効率を高めるべきだと考えます。★は「教科書では深掘りされることのない重要な考え方」に焦点を当てて学習する単元です。

数学新系統講座の 【問題のレベル】

各単元/項目ごとに「標準」「発展」を用意。学習者は自由にレベルを設定・変更できます。市販の問題集における「基礎」～「発展」の全レベルをおさえています。



数学新系統講座の【学習量】

- 中学から大学教養レベルまで、約 8,000 問の問題を用意!
- 学習の目安：週 1～2 時間の学習を 1 ヶ月進めると、1 単元を終わらせることができます。

※学習単元・達成度により、取り組む Training の問題数や次の単元までの時間は異なります。

実際の教材見本もぜひご覧ください。



<https://www.zkai.co.jp/home/z-asteria/class/math/sample.html>

一人ひとりが自由に取り組み、新しい学習のカタチ

[数学新系統講座]

学習する単元の選択も自由にでき、先取り学習や苦手単元の重点復習など幅広い学び方に対応。いつ、どのレベルで始めても確実に数学の力を伸ばすことができます。

case 1

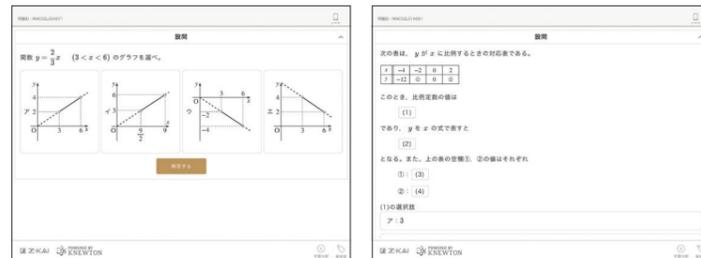
どんどん先に進み、得意分野を伸ばしたい

学習設定で「単元スキップ」を選択

学年の枠を超えて、どんどん先へ進んでいけます。単元スキップと解除をいつでも行えるので、上手に使えば、あなたが学習したい単元だけを重点的に学習することも可能です。



Trainingに
どんどん取り組み、
充実した解答解説も
しっかり読み込む



記述式添削問題
「Brush Up」で
積み上げた力を試す

添削問題の中には、
単元学習にとどまらない問題もあり、
応用力を養うことができます。

Training 対応問題

「Training」で学習した内容がきちんと身についているかを確認する問題です。「Training」でインプットした内容をアウトプットする練習を行います。

Knowledge Ring 対応問題
(ナレッジ・リング)

まず映像講義で各分野の有機的なつながりを理解してから問題に取り組みます。知識のつながりを体感し、考え方や捉え方を広げることができます。

数学活用問題

実社会とつながりのあることを題材とする問題です。モデル化・一般化することにより問題解決力を養うことができます。

※ Knowledge Ring 対応問題や数学活用問題は必要な単元でのみ出題されます。

Discovery Note

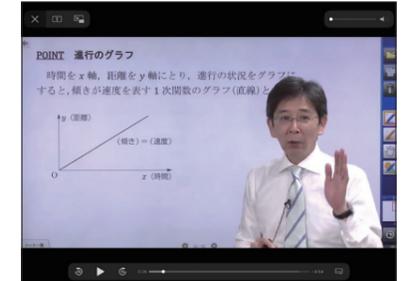
「この問題はあの方法でも解くことができそう」「この考え方は、以前に学んだあの考え方に似ている」などの気づきを積み重ね、自分の中で知識や考え方のつながりを構築していくことが大事です。「Discovery Note」では、自分なりの言葉でまとめたノートを通じて、Z会と「考え方の過程」についてやり取りできます。

case 2

学校の予習など、少し先取りをしたい

映像講義でウォーミングアップ

5～10分のポイントが凝縮された映像講義を通して、その分野への理解を深めます。講義を担当するのはZ会の精鋭講師陣。長年の指導ノウハウを活かしたわかりやすい講義です。



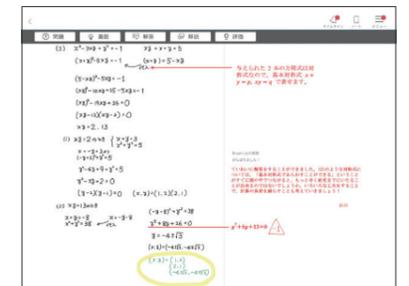
Trainingに取り組む

アダプティブ・エンジンにより、問題を間違えてもその分野の理解が十分に得られるまで最適な課題(適した問題や映像講義)が提示され続けます。



「Brush Up」で記述力に磨きをかけ、 単元学習の総仕上げをする

「Brush Up」は、Z会の添削指導者による添削指導を受けることができます。客観的な指導を受けることで、自分では気づきにくい誤りや傾向がわかり、答案作成能力が高まります。また、第三者を意識した答案を書くことにより、一人では身につけにくい表現力が鍛えられます。



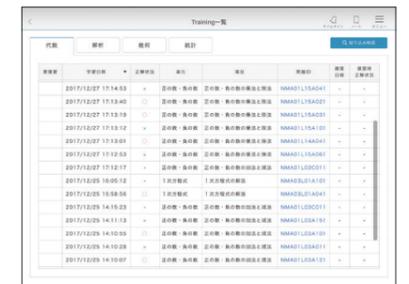
case 3

苦手分野をどうしても克服したい

一度解いた問題を、何度も復習

Training → Brush Upの通常学習に加えて、リスト化された「Training 一覧」「映像講義一覧」「Brush Up 一覧」を苦手単元の重点復習に活用することができます。

※「Training 一覧」には一度Trainingで取り組んだ問題が、「Brush Up 一覧」には学習済みまたは学習中の単元のBrush Upが表示されます。



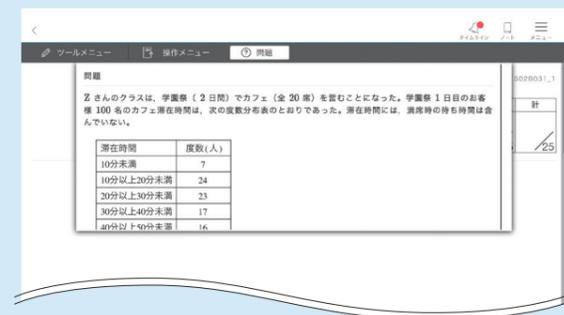
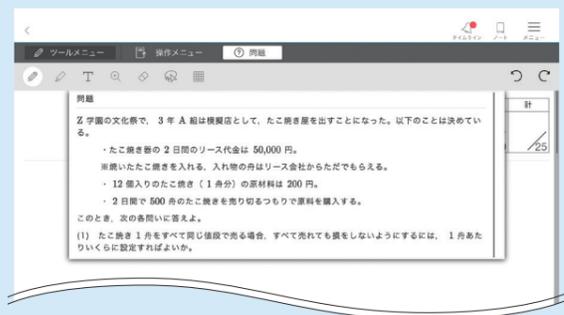
「統計」の重要性 数学と実社会との“つながり”

グローバル化や技術革新などにより、社会が急速に変化する時代。その変化を受けて、学習すべき内容も大きく変わってきています。2022年度以降の数学の学習指導要領では、「実社会との関わりを意識した数学的活動の充実」「統計的な内容等の改善・充実」が謳われています。つまり、社会生活の様々な場面で、データを収集・分析し、課題を解決したり意思決定を行ったりするといった自分の力で未来を切り拓く力が求められているのです。

2021年1月から、現在のセンター試験に代わって実施される大学入学共通テスト。その試行調査では、文化祭でTシャツを販売するという場面において、アンケート結果を踏まえて売上を予測し、利益が最大となるように価格を設定するという問題が出題されました。この問題では、まさに実社会においてデータを収集・分析し、課題解決を行う力が試されています。

では、実社会で活用できる力、『統計』を用いて考える力は、どのようにすれば身につくのでしょうか。その答えは、知識を習得した上で、さらに問題を通してその知識を実際に活用する演習を積み重ねること。数学新系統講座では、Trainingで身につけた知識をBrush Upの「数学活用問題」で実際に活用する演習を行うので、問題解決力を養うことができます。

数学新系統講座の数学活用問題の例



平成29年11月に実施された共通テスト試行調査の問題例

数学Ⅰ・数学A
第2問 (必答問題)

(1) ○○高校の生徒会では、文化祭でTシャツを販売し、その利益をボランティア団体に寄付する企画を考えている。生徒会執行部では、できるだけ利益が多くなる価格を決定するために、次のような手順で考えることにした。

価格決定の手順

- (i) アンケート調査の実施
200人の生徒に、「Tシャツ1枚の価格がいくらまでであればTシャツを購入してもよいと思うか」について尋ね、500円、1000円、1500円、2000円の四つの金額から一つを選んでもらう。
- (ii) 業者の選定
無地のTシャツ代とプリント代を合わせた「製作費用」が最も安い業者を選ぶ。
- (iii) Tシャツ1枚の価格の決定
価格は「製作費用」と「見込まれる販売数」をもとに決めるが、販売時に釣り銭の処理で手間取らないよう50の倍数の金額とする。

下の表1は、アンケート調査の結果である。生徒会執行部では、例えば、価格が1000円ときには1500円や2000円と回答した生徒も1枚購入すると考えて、それぞれの価格に対し、その価格以上の金額を回答した生徒の人数を「累積人数」として表示した。

Tシャツ1枚の価格(円)	人数(人)	累積人数(人)
2000	50	50
1500	43	93
1000	61	154
500	46	200

このとき、次の問いに答えよ。

(数学Ⅰ・数学A第2問は次ページに続く。)

- 14 -

数学を学ぶとは



橋野 篤 (Z会進学教室指導室長)

Z会Asteria 数学新系統講座 担当講師。20年以上Z会進学教室で教鞭を取り、Z会Asteriaをはじめ、Z会の通信教育iPadスタイル、Z会の映像の授業も担当。『未来を切り開く学力シリーズ』(文藝春秋)を執筆。

なぜ数学を学ぶのでしょうか。それは、論理的に考えた結果を適切に他者へ伝え、社会を動かし生きていく力を養うことが目的のほうです。

従来の試験では、問題文に示された条件・解き方に沿って数値を求める問題が中心で、「解き方」をたくさん身につけることが学習の目的になっていました。それでは加速的に変化していく社会や実生活に活用することができません。そういった危機感を背景に2021年度からの「大学入学共通テスト」では、「考え方・表現力」を問う記述式問題が新たに導入されます。

また、「考え方を問うような応用問題が出題される」と聞くと、「応用問題の演習をとにかくやればよい」と思うかもしれませんがそれは間違いです。本当の正しい学習法は、一つひとつの知識をより深く理解することなのです。「どうすれば問題が解けるか」という“How”を集めるよりも、「どうしてこのように考えるのだろうか」といった“Why”を追究することが重要です。“Why”を積み重ねて知識を深掘りすることで、その適用範囲や考え方が認識できます。「考え方」を身につけてこそ、応用問題に対応できるようになるのです。

さらに、複数の考え方の共通点や違いに着目し、自分の中で整理することで、「あの場合もこの場合も○○だから、どちらも□□を使う」のように判断していくことができるようになります。自分の中に考え方の「地図」をつくるような「学び方」を実践していくことで、本当の生きていく力が備わっていくのです。

一つひとつ考え方を理解することと、複数の考え方を整理することに時間をかけてほしい。そして、有意義な学びを体験して、学び方を身につけてほしいと思います。ぜひ、いっしょに学んでいきましょう。

新時代に問われる「課題解決力」を養う

総合探究講座

協働学習 探究学習 個人学習

対象：中学生・高校生

こんな方に“おすすめ”します

多様な視点を持った全国の受講者とディスカッションを行いたい

答えがなかなか出ない問題に協働して取り組み、解決する力を身につけたい

課題解決をするために必要なコミュニケーション力を伸ばしたい

最先端の学問やビジネス領域に触れ、将来の進路決定に役立てたい

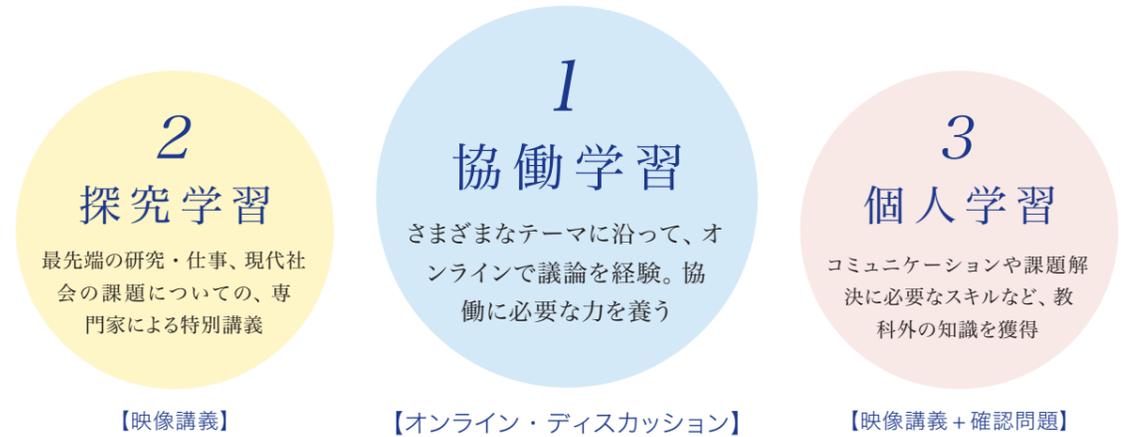
高校・大学入試はもちろん、社会に出ても役に立つ知識・能力を身につけたい



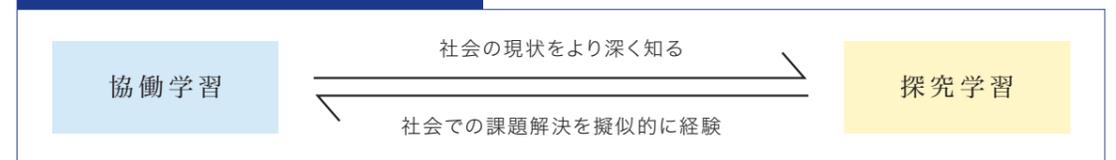
※受講料に関しては、P36をご覧ください

「3つの学習」が相互作用する講座設計により、深い学びが実現

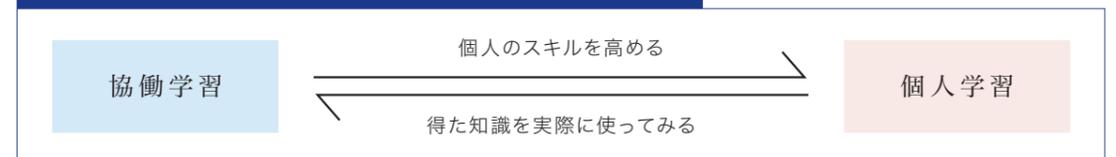
「協働学習」を中心とした3つの学習



協働学習と探究学習の「テーマが連動」



協働学習後のフィードバックで「おすすめの個人学習を提示」



総合探究講座で扱うテーマ例

AIと人間はどう共存できるか？	未来のエネルギーはどうなる？
生物多様性を守るには？	現代社会に宗教は必要？
テクノロジーは農業に何をもたらす？	未来のお金の形とは？
	100年続く企業の特徴は？

周囲と協働して考えコミュニケーションをはかる「対話的な学び」で、課題解決の道筋を見つける力が養われます。

協働学習

月1回・所要時間60分

自分の知識や経験をもとに他者と議論し、「協働性」を身につける

月ごとに文系・理系問わず様々なテーマを扱い、受講者同士でオンライン・ディスカッションを行います。資料を読んだうえでファシリテーターのサポートのもと議論を進めるので、事前知識がなくても積極的に議論に参加することができます。

iPad内蔵のマイクを使って会話をを行います。参加者はアイコンで表示され、個人情報外部に漏れることはありません。

ファシリテーターが議論を進行します。

ディスカッション中、提示された資料に書き込むことが可能です。

「チャット機能」で、ファシリテーターとやり取りもできます。



協働学習の特長

■ 議論の進め方を学び、アドバイスも受けられる

ファシリテーターが導くので議論がスムーズに行えます。ディスカッション中の発言などをもとに、終了後にアドバイスが受けられることも大きな特長です。

■ 多様な意見に触れ、気づきが得られる

学校とは異なり、全国にいるいろいろな考えをもった受講生と議論できる貴重な機会となります。自分ひとりでは発想できない、新たな視点や気づきを得られます。

■ 社会問題を自分事として、捉えることができる

世界規模の問題、身のまわりにある問題について「私なら何ができるか」という視点を持てるよう議論を進めますので、主体的に社会にある問題について考えられるようになります。

学習の流れ

インプット

与えられた資料を読む



共有・議論

ファシリテーターの進行のもと、資料での学びを他者と共有・議論する



アウトプット

ディスカッションをふまえて、自分の考えと今後学びたいと思ったことを提出 (Z会がフィードバック)



協働学習の様子を動画で見よう



QRコードからアクセス

<https://www.zkai.co.jp/home/z-asteria/movie/cacooperation.html>



探究学習

月1回・所要時間60分

現代社会について知見を広め、協働学習への意欲を高める

さまざまなジャンルで活躍する人の講義を受ける「探究学習」。自分たちが生きる社会の課題について深く考えたり、近い将来自分はどのように社会に貢献できるかを考えたりすることができます。自らの進路を考えるきっかけにもつながります。ライブ配信の場合はコメント機能を用いプレゼンターに質問をすることができ、アーカイブ配信ではいつでもどこでも過去の講義を視聴することが可能です。



探究学習のテーマ例 ※アーカイブ配信で視聴可

■ 新しい時代に必要となる学びとは？

MIT メディアラボ所長 伊藤 穰一氏

AI化・少子高齢化など大きく環境が変わっていくこれからの社会でどんな学びが必要か、環境問題を事例に具体的な学び方について考えました。



■ 島根の自虐PRはなぜ成功した？

映像クリエイター FROGMAN 氏

「秘密結社 鷹の爪」の作者が手掛けた島根県の自虐PRについての事例を紹介。また、過疎と言われる島根にも地元住民が気づかなかった魅力が埋まっているということも知ることができました。



■ ここまでできる！ 著作物の活用方法と注意点

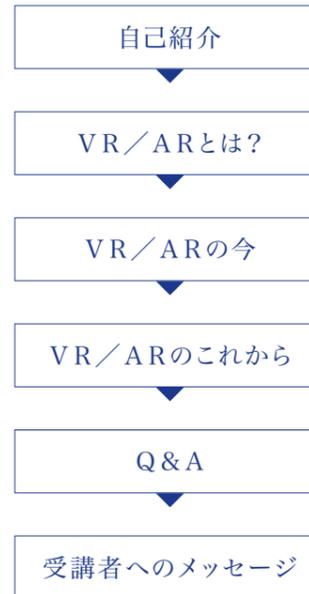
弁護士 福井 健策氏

中高生が知っておくべき著作権の知識を伝授。「怖いから何もしない」ではなく「活用する」という視点で著作権について考えました。



探究学習の流れ 「AR・VRで何ができる？ 何が変わる？」の場合

※VR：仮想現実を、まるで現実であるかのように体感できるテクノロジー。AR：現実世界にCGなどの仮想現実を追加・反映したもの。



登壇者が自身の経験をもとにテーマについて話します。



生配信中に、受講者はコメントを送ることができます。配信中に皆さんのコメントが取り上げられるかもしれません。

探究学習の様子を動画で見てみよう

QRコードからアクセス

<https://www.zkai.co.jp/home/z-asteria/movie/cainquiry.html>



■ JINS 新型メガネはどんな価値を売っているのか？

株式会社ジズ 井上 一鷹氏

メガネを販売しているJINSという企業の新商品、「JINS MEME」を手掛ける井上一鷹さんに、JINS MEMEを開発するまでの工夫や活用方法などについてお話を伺いました。



■ AR・VRで何ができる？ 何が変わる？

株式会社CyberZ 岩崎 謙汰氏

VR・AR。「仮想現実」「拡張現実」などとも言われているこの技術は、ただ面白いというだけでなく、実生活にも役に立ちます。実際にVR・AR等の開発に携わる岩崎謙汰さんにお話をいただきました。



■ 現代社会に宗教は必要か？

僧侶・未来の住職塾塾長 松本 紹圭氏

歴史の教科書を開くとどの時代にも「宗教」に関する記述が出てきます。人類の歴史にとって宗教は欠かすことができないものだったのです。ところが、現代日本では、自分が「無宗教だ」と考えている人が7割にのぼります。もはや今の社会に宗教は不要なのでしょうか。僧侶の松本紹圭さんと未来の宗教の形について考えました。



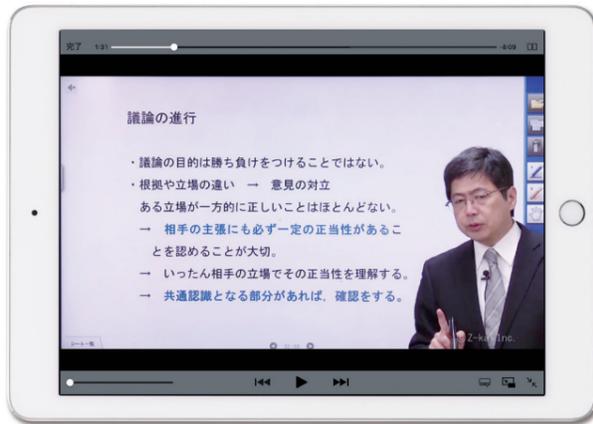
個人学習

協働学習で感じた「問題解決／コミュニケーション」のつまづきを解消

「映像講義＋確認問題」で、他者と協働を図るためのスキルを身につける「個人学習」。

厳選された23テーマから自由に学習できます。

協働学習と個人学習を繰り返し、「問題解決力」「コミュニケーション力」を磨き上げていきます。



映像講義 [例] 議論の進行

「相手との共通認識を確認することが大切。相手を否定することが目的ではなく、相手の言い分で正しい箇所を取り入れることが大切」といった内容を学びます。



確認問題 [例] 議論の進行

事例をもとに、議論を建設的に進めることで共通認識が「何か」を考える練習を行います。

個人学習のテーマ例

仮説を立てよう	統計資料の扱い方
反論のしかた	議論の進め方
議論をもとに提案してみよう	コミュニケーションの基礎
ディスカッションの技法	議論・会話の膨らませ方

対話をしながら

学ぶことで、課題解決が

できる人になる

監修者

益川 弘如 教授 (聖心女子大学)

聖心女子大学文学部教育学科教授。主に学習科学、認知科学、教育工学、協調学習、ICTを活用した教育を専門としており、『21世紀型スキルへ学びと評価の新たなカタチ』(2014 北大路書房)の編訳や知識構成型ジグソー法の研究・実践を行う。文部科学省や教育委員会の各種委員会へも多数参加しICTの活用や教育に携わる。



現代社会というのは、一人ひとりが答えを創り出す時代だと言われています。誰かに言われたことをただやっていけばよいわけではなくて、自分自身が何か考えて発信していく、そういう時代です。これからますます人工知能や情報通信技術が高度化していきますが、世の中が便利になればなるほど、解決しなければならない課題も増えてくるんですね。例えば少子高齢化における医師不足の解決方法、AIと人間の共存のあり方、外来種による環境への影響など、新しい問題に対して解決策を考えなければなりません。

そのような変化の中で、教育も大きく変わってきています。大学入試改革でも、何を知っているかだけが学力ではないという視点で見直しが行われています。自分が知っていることを使って新しいものを生み出せる、そういう人材が求められているのです。

新しい時代に向けて、一人ひとりがより賢くなっていくためには、さまざまな人とコミュニケーションをとり、対話をしていくことが大事です。同じ問題を解くときに、一人で解くより、二人で解いたときの方が、別の解き方に気づきやすいという研究結果があります。自分の考えと他人の考えを比べることで対話がおき、別の考えが生み出されるんですね。また、自分とは違う考え方をしている人に「どうして?」と聞くことで理解が深まったり、新たな考えに気づいたりすることもあります。共通の目標を持つ学びのパートナーと話し合うことで、それぞれが考えを深めたり、新しい考えが生み出されたりする。このような学び方が求められていると思います。

総合探究講座では、ICTを活用することで、普段接することができない遠く離れた複数の人とも対話しながら課題を考えることができる「協働学習」を用意しています。自分がわかっていることを伝えるだけでなく、わからないことをみんなに聞ける場になっているので、協働学習に取り組むなかで生まれた疑問を解決する糸口が見つかるはずです。

“自立した学習者”の背中を押す。 Asteriaの「Access Point」

学習者の意欲・課題意識により、主体的に学びをデザインすることができる Asteria。

しかし「自立する力」が養われていく過程では、いろいろな困難が待ち受けているかもしれません。

その時こそ、受講生と Asteria で築き上げる“パートナーシップ”が大きな役割を果たしていきます。



初期カウンセリング

入会直後から数回、学習の進め方などのアドバイスを受講生にメールでお送りしています。
(2回目以降は受講生の学習履歴を見た上でのアドバイスとなります)。
電話による無料相談も、希望日時(9:00～19:30 日曜除く・祝日可)に実施しています。



カウンセリング

Z会が学習履歴を見て、長期間アプリにログインしていない受講生に対し初回はメール、それでもログインしなかった場合は、お電話にて学習上お困りの点がないかなどをお話しさせていただきます。



Asteria 通信

Z会 Asteria 事務局から Asteria 受講生に送られる Web マガジンでは、Asteria の有効な使い方や、ためになるお知らせ、そして勉強の合間にちょっと一息ついていただける内容などをお届けしています。



質問回答

Asteria アプリ内には、学習中に自由に画面を呼び出して書き込むことができる、「ノート」機能があります。その「ノート」機能を使って、自由に Z会 Asteria の学習に関する質問をしていただくことができます。質問への回答は、Z会確認後3営業日以内に閲覧可能となります。



オンライン季節講習(春・夏・冬)

受講生と担任(Z会スタッフ)でWeb上のクラスを編成し、Asteriaの学習や学校の宿題などの計画を立てていただき、自宅での学習をサポートします。(※授業を行うものではありません)。
仲間と一緒に刺激し合うことで、一人では続きにくい学習も継続的に取り組むことができるようになります。



【実施期間】長期休暇中の平日

【時間帯】標準開講時間9:30～15:30 ※時間は変更になる場合がございますので、直前の案内をご確認ください。

アセスメント(診断テスト)

『LIPHARE』は、これからの時代に求められる新しい学力=「資質・能力」を測定・評価するアセスメントです。小学生～大学生・社会人までを対象とした CBT (Computer Based Testing) で、時間・場所を選ばず気軽に受験できます。

基礎学力アセスメントシリーズ
LIPHARE
www.zkai.co.jp/assess/



【英語 CAN-DO テスト】無料

英語4技能講座の受講生は、新学習指導要領や2021年度からの新大学入試で大きな役割を果たすCEFRレベルで、“使える英語力”を測定する試験を受験することができます。

- 日常生活や学校などにおいて、実際に遭遇しうる言語場面に基づいた問題に取り組みながら「使える英語力」を測れます。
- 英語力の総合評価、各技能の評価がCEFR-Jレベルで判定され、技能ごとにどのように学習を進めればよいか客観的にわかります。
- 受験結果に基づいて、Z会 Asteria 英語4技能講座の各技能の学習レベルが変更されるため、効果的に学習を進めることができます。



【課題発見・解決能力テスト】無料

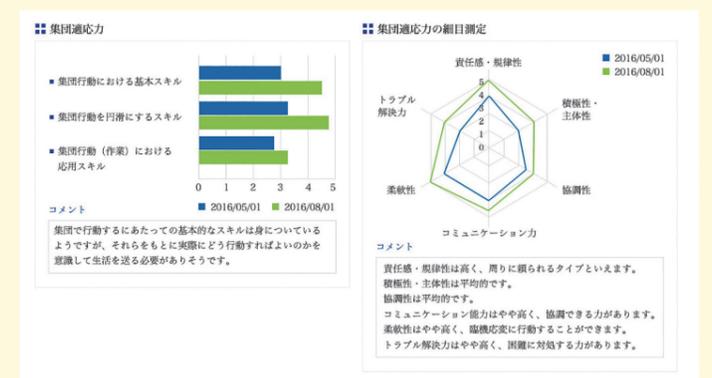
総合探究講座の受講生は、“課題発見と解決能力”を測定する試験を受験することができます。自分の強みや改善点が成績表で明示されるので、次の学びに活かすことができます。

■学習開始時を含め、定期的に能力を測定。

■「課題を見極め、情報を収集する力」「論理を構築する力」「意見を構築する力」「多様性受容能力」の4つの項目で評価。

■受験結果に基づいて、Z会 Asteria 総合探究講座の個人学習でおすすめのテーマが表示されるため、効果的に学習を進めることができます。

■さらに「行動能力・興味関心セルフチェック」(無料)とあわせて受験すると、自己認識と他者からの評価の両方を把握することができます。



知らないテーマを 深掘りできる、 「総合」が想像以上に 良かったです。

中学1年生

A・Aさん・お母様

英語4技能講座
数学新系統講座
総合探究講座



— Asteriaを受講した理由を教えてください。

子 数学はその学年に関係なく勉強できるから。英語はほかの塾と違って話す力を鍛えられるから。総合は数学と英語をやるからどうせなら3つで、と決めました。

母 夫とも話したのですが、英語は発音チェックができること、数学は誤答にまた取り組めること、総合は協働学習に魅力を感じました。あとはタブレットの端末を活用した新しい学びのスタイルや、伝統あるZ会の新しい試みに期待して受講しました。

— お母様はタブレット学習に違和感がありましたか？

— 議論を進行するファシリテーターの印象はいかがですか？
子 みんながわかりにくそうなところは説明し、議論を導いてくれるので頼りになる感じですね。
— 「協働学習」の時間は長と感じますか？短いと感じますか？
子 議論自体は短い感じですが、(現在の)1時間ぐらいいがちょっと短い感じですね。
— お母様は議論の様子を見て、どのような感想をもちましたか？
母 そうですね、はたから見ていると積極的にコミュニケーションして、意見をしっかりと言っているなと思心しています。こういった議論は今よりも、将来就職して仕事をした時に役立つなあと思います。問題やトラブルに直面した時、それを解決して乗り越えていける力になると思うので。

— 次に、一週間のスケジュールを教えてください。今、部活が週3で吹奏楽部、週1でピアノに通っていらっしゃる。他になにが塾とか習い事されていますか？
子 英会話と、数学の塾に週2で通っています。
— ほぼ毎日何かを習っていて、忙しいですよ。学校は何時くらいまでですか？
子 月曜が4時間授業で、お昼過ぎに帰ってきます。ほかは部活のない日は16時前、部活がある日は18時前に帰ってきます。
— 習い事がある日は、家に帰るのは何時くらい？
子 月曜日は20時、その他の平日は19時です。
— 塾と英会話／Asteriaで、どのように使い分けていますか？
子 塾では代数と解析を。幾何はAsteriaで。英会話は「話す」「聞く」を中心に。Asteriaは読み書きと学校の少し先をやる感じですね。
— Asteriaはいつやっているの？
子 日曜に必ずやって、あと平日余裕がある日と、長期休みのAsteria季節講習とかでやってます。
— 1回にどのくらいやりますか？
子 英語はパートを1個終わらせられるくらい。数学は問題数も多いので途中で終わったりするけど、英数あわせて1、2時間です。
— 途中で休憩をはさみますか？
子 Asteriaは一気にやります。数学はこなしている感じになるんですけど、英語はどうしてもTrainingを100%にしたいので。
— 次にAsteriaを実際に受講し

母 私も最初は紙に書いたりとかじゃないのかなと思っただけですけど、体験会に参加させていただいて、タブレットでも勉強に差し支えがないと感じました。

— 実際にAsteriaを受講してみた感想をお聞かせください。
子 数学は例えば代数が学年を越えた内容、幾何が今の内容というように自分に丁度よいレベルです。英語は音声認識で自分の発音の癖に気づき参考になります。

— 総合はいかがですか？
子 教科以外の広い範囲もディスカッションできるので、そういうところがいいと思います。
— 「個人学習」は使いますか？

子 はい。でも今はあまりやっていません。
— 「協働学習」や「探究学習」で面白かったものはありますか？
子 探究は五箇先生の話「環境ってどう守るの？」生物多様性の視点から考えよう。協働だと「偽薬(※)」です。それまで知らなかったもので、結構驚きました。
— 今まで知らなかったテーマが多いですか？
子 農業とか医者不足とかそういうのは聞いたことあって、半分強は知っています。
— 知っているテーマのときと、知らないテーマのときで心構えが違ったりしますか？

子 知っているテーマのときは、半分強は知っています。
— 知っているテーマのときと、知らないテーマのときで心構えが違ったりしますか？
子 農業とか医者不足とかそういうのは聞いたことあって、半分強は知っています。
— 知っているテーマのときと、知らないテーマのときで心構えが違ったりしますか？
子 知らないテーマのときで心構えが違ったりしますか？

子 知ってるテーマだと、こういうことが話し合われるんじゃないかなと想像しますが、知らないテーマだと結構おもしろそうだなって興味がわきます。また、知ってるテーマの「医者不足」でも、自分が想像していた以上に複雑で単純には解決できない問題だったりするので、新しい気づきがあり先入観が変わりました。

— 「協働学習」では積極的に発言するのですか？
子 結構、思ったことはすぐに発言します。ディスカッションの最初はちょっと不安だったんですけど、慣れるとやっぱり面白かったです。

子 英語の「ノート」に文字を入力できる機能で、けっこう細かい文字とか入れる時に便利です。
— 塾や学校と比べて、Asteriaはここが違うというところがありましたか？
子 英語で話せたり、学年を超えて学習できたり、受講料安かったです。良いところ取りをしていると思いました。

— 最後に、Asteriaでこんなことができたらいいな、と思うことはありますか？
子 ちょっと使いにくいなあという機能なんですけど… 数学で問題を解いて解答を開く時に、「ノート」を閉じないで済むようにして欲しい。あと、総合の協働学習で事後課題を提出する時に、たとえば「こういう本を読むと理解が深められるよ」と紹介しても学はととても満足しています。

子 英語の「ノート」に文字を入力できる機能で、けっこう細かい文字とか入れる時に便利です。
— 塾や学校と比べて、Asteriaはここが違うというところがありましたか？
子 英語で話せたり、学年を超えて学習できたり、受講料安かったです。良いところ取りをしていると思いました。
— 最後に、Asteriaでこんなことができたらいいな、と思うことはありますか？
子 ちょっと使いにくいなあという機能なんですけど… 数学で問題を解いて解答を開く時に、「ノート」を閉じないで済むようにして欲しい。あと、総合の協働学習で事後課題を提出する時に、たとえば「こういう本を読むと理解が深められるよ」と紹介しても学はととても満足しています。

【特集】
受講生の声

— 次にAsteriaを実際に受講し

— 次にAsteriaを実際に受講し

— 次にAsteriaを実際に受講し

— 次にAsteriaを実際に受講し

※「偽薬」とは、薬そっくりの見た目だが病気を治す成分が入っていないもの。本来治療で使われますが服用すると治ることも、治療に偽薬を使うことに問題があるかどうかを協働学習で議論しました。

数学は予習として。 英語は自分の 好きなところから 学んでいます。

中学1年生
H・Yさん・お父様
英語4技能講座
数学新系統講座



—Asteriaを受講した理由を教えてください。

父 中学に入ると英語は新しい内容になり、数学の方向性も変わるのを探していました。今まで通信教育をやったことはありませんが、自分でどんどん進めていくことが難しく、そのときに留まったのがAsteriaでした。レベルに応じて繰り返し取り組めるのがいいと思いました。無料体験会に参加しましたが、数学のところが良かったです。

子 中学生になるにあたって、数学でどんな勉強をすればいいのか知っておきたかったので、体験会に参加しました。

父 通信教育を中心に。でも、数は多くなかったですね。それとこれまでと違う学習手段を探していましたが、今までやりつ放しでしたから。間違えた時、自分で繰り返し直したりするのは難しいですが、Asteriaは間違えると自動的に同じような問題が出てくるのが良いと思います。

子 Speakingです。

父 数学は定期テスト対策をあまりしなくても点数が取れました。

子 Trainingは平日、オンラインレッスンは毎週土曜日にやります。

父 そうですね。忙しいときは今日はできないとか自分でコントロールできるのも良いです。

子 1問やってみると映像講義を見ます。

父 つまらずくと映像講義が自動的に出てきて、それを繰り返して見えています。

子 映像講義と学校の先生の授業を比べて違いはありますか？

父 学校の先生は逆に詳しくすぎるというか、細かすぎるといいます。

子 Asteriaの映像講義はポイントを絞っていますからね。季節講習の存在は知っていましたか？

父 2018年の夏に受講しました。

子 オンラインで先生と目標を立て、自分で勉強するという、あまり

子 2018年の夏に受講しました。

父 オンラインで先生と目標を立て、自分で勉強するという、あまり

に参加しました。

—Asteriaを体験したら、中学の数学が見えてきましたか？

子 はい。

父 入学の時期に、学習手段を探されていったんですね。

子 通信教育を中心に。でも、数は多くなかったですね。それとこれまでと違う学習手段を探していましたが、今までやりつ放しでしたから。間違えた時、自分で繰り返し直したりするのは難しいですが、Asteriaは間違えると自動的に同じような問題が出てくるのが良いと思います。

子 Speakingです。

父 数学は定期テスト対策をあまりしなくても点数が取れました。

子 Trainingは平日、オンラインレッスンは毎週土曜日にやります。

父 そうですね。忙しいときは今日はできないとか自分でコントロールできるのも良いです。

子 1問やってみると映像講義を見ます。

父 つまらずくと映像講義が自動的に出てきて、それを繰り返して見えています。

子 映像講義と学校の先生の授業を比べて違いはありますか？

父 学校の先生は逆に詳しくすぎるというか、細かすぎるといいます。

子 Asteriaの映像講義はポイントを絞っていますからね。季節講習の存在は知っていましたか？

父 2018年の夏に受講しました。

子 オンラインで先生と目標を立て、自分で勉強するという、あまり

子 2018年の夏に受講しました。

父 このために買いました。

—iPadに抵抗はありましたか？

子 ありませんでした。

父 iPad教材を使っているお友達はいませんか？

子 いいえ。紙を使った教材と塾に通う子が多いです。

父 最初は難しかったですか？

父 英語のListeningやSpeakingは慣れていないので、最初は手間どりました。

子 Speakingの教材はあまり世の中にはないですね。学校の授業はスムーズになりましたか？

子 学校でやる前に(Asteriaに)取り組むようにしているので、いざやってみたら内容が簡単に感じ

ました。

父 順番どおりにやっています。学校のカリキュラムにもあっています。

父 英語は学校と違い単元がありませんが大丈夫でしたか？

父 Asteriaは一般的な英語なのでとっつきにくかったですね。でも学校の授業で英語を使っているうちに自然と軌道に乗るようになりました。

子 順番どおりにやっています。学校のカリキュラムにもあっています。

父 英語は学校と違い単元がありませんが大丈夫でしたか？

【特集】
受講生の声

塾の勉強は 試験や受験のため。 Asteriaは それとは違うな、と。

中学1年生
R・Aさん・お父様
英語4技能講座



—Asteriaを受講した理由を教えてください。

父 中学受験が終わり、これから本格的に英語を勉強しなくちゃならない。英語は小学校3年生くらいに塾で勉強していたんですけど、辞めたら結局忘れてしまったんです。なぜかと考えたら、「書く」と「聞く」のだけだったんですよ。そういうのもいいけど、実際に話したり読み書きが全部できないと、英語の勉強は続かないのかなと思いました。ただ単に書いて聞くだけでなく、色々と面倒みてくれるサーブिसがいいなと思いついて、Z会Asteriaを拜見して資料を取り寄

せました。その資料を読み込んだら、これからは4技能が必要になると。だからこの4技能を鍛えてくれるサーブिसがいい、というのが興味をもった理由の一つ。もう一つは、本人が中学生になったらiPadを使いたいと言っていたので、こういうの(Asteria)で勉強できるよって言ったなら、ぜひやりたいと希望があったので決めました。自己管理を任せてやらせてみる、それが成長に繋がるんじゃないかと思いました。

—iPadは欲しかったの？

子 僕、小学生のころはこういうコンピューターを持ってませんでした。

した。だからiPadが持てて、自分で遊ぶこともできて一石二鳥でした。

—iPadなどのデバイスを使う学習方法や体験を、中学生のうちからやらせたいというお考えもあつたんでしょうか？

父 そうですね。塾の勉強はやっぱり試験や大学に入るための勉強で、Asteriaの勉強は、それとは枠が違うのかなと。この子にはいい大学に入って欲しいというよりも、将来グローバルにどこへ行っても通用するスキルを身につけて欲しい。Asteriaはそれに向いていると無料体験会の際に感じました。

—2021年度の大学入試が変わるのも世の中が変わってきている一つの方向性です。グローバルやITリテラシーなど、その根幹を意識してもらって、学習手段を選ぶことが大事だと思います。

父 実際、オンラインの会話の授業は、緊張するって言うてただけど、やってみたら「楽しかった！」と言っていたのでやらせてみて良かったです。

—Asteriaでわからないことはありませんでしたか？

父 オンラインレッスンをやるイメージとか、それに必要なヘッドセットのこととか機器のところ。あと国際標準規格(OEFA)はパンフ

レットで初めて知ったので、想像がつかなかったです。でも説明会である程度、理解できました。

—英語4技能講座の進め方は？

父 はい。やはり本人が使ってみて本当にできそうかどうか確認したかったし、私も少し分からないところがあつたので、Z会の人に話を聞いて判断したかつたんです。

子 「読む」のが好き。楽だから(笑)。SpeakingとWritingが苦手であとに残ります。

—Z会からの説明で不明点は解消されましたか？

父 そうは言っても、学校の授業のプラクティスイングリッシュという「話す」授業は点数がいいんですよ。

父 そうですね。説明だけではなく、これからの大学などの情報も聞けて分かりやすかつたです。

—学校はネイティブの先生だと思うけど、授業の回数は？

—普段の生活も含めて一週間のスケジュールを教えてください。

子 週3、4回くらい。小学校のときは月1回くらいでした。

—帰ってきてからの勉強は？

子 学校よりも早く進んでいて、「あ、これやつたな」って分かるから、点も高くなるのだと思う。

—Asteriaはいつやっているの？

子 先に進んでいることがアドバンテージなんです。

—土日のスケジュールは？

子 Readingは絵と問題が一緒に出るのがわかり易く、楽しく学べます。オンラインレッスンも、絵

—Asteriaがやらにこうなつて欲しいこととか、自由にお願います。

子 特にないです。音声を読み取られにくいことがあつたけど、ほかの面は十分です！だって自分で学べて、どこにいても、どんな格好でもできるから！

【特集】
受講生の声

学習スタイル

学年や固定のカリキュラムの枠にとらわれることなく、一人ひとりにあったペースで進められるのが、Asteriaの特長。そこで、現在の受講生の声から導き出した、代表的な「モデルケース」をご紹介します。

英語の力を どんどん伸ばしたい

中学2年生



- 小学校の時には英会話教室に通っていたが、中学に入ってから学校や部活が忙しくなって通えなくなってしまった。
- 英語の勉強は好き。英語の力はどんどん伸ばしていきたい。
- 外国の生活や文化に興味がある。将来は難関国公立大の外国語学部へ進学したい。英語を使った仕事がしたいとぼんやりと思っている。

受講講座

英語4技能講座 (Online Speaking【月6回】プラン)

Schedule

月	火	水	木	金	土	日
Asteria 英語	部活	Asteria 英語	部活	部活	Asteria 英語 Online Speaking	

学習状況

中学校の英語の授業はちょっと物足りないのですが、Asteriaの英語は自分のレベルできています。受講する前は、学校の英語の授業でネイティブの先生が担当する時にしか英語を話す機会がなかったのですが、Online Speakingを始めてからは英語を使う機会が増えました。レッスンは週1回、時間が取れる土曜日にやっています。毎回予約して日時を決められるので、予定変更もしやすく、週2回やるときもあります。iPadさえあれば、英語を話す場がすぐできるので、学校や部活との両立がしやすいです。

数学を 得意にしたい

高校1年生



- 数学は嫌いじゃないけど成績は今ひとつ…。学校の宿題や塾・部活で平日は忙しい。
- 苦手な単元はじっくりやりたいと思っているが、なぜ得点できないのか、自分でもよくわからない。
- 難関国公立大の理系学部志望。数学を得意科目にして得点を稼ぎたいと思っている。

受講講座

数学新系統講座

Schedule

月	火	水	木	金	土	日
部活	塾	部活	塾	部活		Asteria 数学

学習状況

平日は部活や塾・学校の宿題で手一杯なので、Asteriaの数学は週末にやっています。中学～高校の範囲が全てつまっているの、復習としてこれまで学習したところのうち、自信の無い単元をやっています。できない問題があると繰り返し似た問題が出題されたり、映像の解説が表示されたりするので、わからないところをじっくり自分のペースで取り組んでいます。中学範囲の学習のやり直しでも、今やると「そういうことだったんだ」と気づき、理解が深まります。余力があるときは、これから学習が始まるものの予習もやっています。

新大学入試を 見すえた学びをしたい

中学1年生



- 英語4技能の対策をしたい。
- 総合的な出題が増えると聞いているが具体的に何をすればよいかイメージがわからない。
- 推薦・AO入試で面接や議論形式が増えていく可能性があるの、対策をしたい。

受講講座

英語4技能講座 (Online Speaking【月4回】プラン) 総合探究講座

Schedule

月	火	水	木	金	土	日
	部活	Asteria 英語	部活	Asteria 英語	Asteria 総合探究	

学習状況

英語は、学校とは違って4つの技能ごとに自分のレベルがわかり、学習が進められるので、今週はこの技能の演習、と決めてやっています。英語のできる事が増えていく学習が楽しいです。総合探究講座の協働学習は、学校でもアクティブ・ラーニングの授業で同じようなことをやっているのですが、日々一緒に過ごしている友達とのやり取りなので、お互いに遠慮して活発な議論ができていません。総合探究講座ではお互いの顔が見えずに全然違う人と議論できるので、議論に集中できます。

社会に出たときに 役立つ学びをしたい

中学2年生



- 英語のテストの成績は良いが、自在に使えるわけではない。
- 数学は苦手ではないが、何のために勉強するのがよくわからない。
- 教科学習だけでなく、世の中のいろいろなことに興味があり、知らないことを知りたい。

受講講座

英語4技能講座 (Online Speaking【月2回】プラン) 数学新系統講座 総合探究講座

Schedule

月	火	水	木	金	土	日
Asteria 英語	Asteria 総合探究					
	部活		部活	Asteria 数学		

学習状況

英語のTraining(練習問題)は通学中の電車の中で15分のすきま学習をして、日々英語に触れる習慣をつけています。Online Speakingには月に2回、土曜日に取り組んでいます。数学は学校の単元と同じ内容をやっていますが、学習が進むと日常生活に沿った出題やこれまで学んだこととあわせた問題も出てきて、新たな発見があります。総合探究講座は土曜日に個人学習や協働学習をしています。教科の学習ではないので、毎月の内容が新鮮です。学校がない日にじっくりと、楽しみながら取り組んでいます。

よくあるご質問

■対象について

Q 「学年を超えて」とはどういう意味ですか？ 難問が出題されるのでしょうか？

A Z会 Asteria では、アダプティブ・ラーニングを取り入れることで、一人ひとりの達成度に応じて、次に学ぶのに最適な課題を提示することが可能となっています。学習指導要領による学年ごとに決まった学習内容という枠にとらわれることなく、効率のよい学習ができます。タブレットで学習することで、受講者の方の学習履歴が記録され、自分の学習状況にあった問題や学習を補助する映像が提示されます。つねに適切なレベルの問題で学習できるため、簡単すぎたり、難しすぎたりすることがなく、学習効率が高まります。それぞれの学習単元が十分習熟するまで、受講者一人ひとりに合った出題がなされますので、意欲があればどんどん先に進むことができます。たとえば、中学生のうちに、高校範囲を学習することも可能です。
*一部、教科書では扱わない内容も含まれることとなりますが、すべてが難問から成り立っているというわけではありません。

Q 社会人でも受講できますか？

A はい、ご受講いただけます。英語4技能講座、数学新系統講座については、ご受講いただくことが可能です。英語4技能講座では、Business コースもアプリ内で選択できますので、活躍の場を広げたい・学び直しをされたい社会人の方にも十分にご活用いただけます。

Q 小学生ですが、Asteria の学習に取り組むことができますか？

A はい、お取り組みいただけます。英語4技能講座の場合、アルファベットや簡単な英単語がお分かりになれば、学習を開始していただくことができます。自分に合ったレベルの学習に取り組めますので、小学生の方であっても高いレベルの学習に取り組めます。数学新系統講座については、中学～高校（一部、大学教養レベル）の単元をすべて搭載しておりますが、映像講義もついておりますので、先取り学習にも取り組めます。

■受講前について

Q 受講前に準備することはありますか？

A ご受講前に、必ず推奨環境のご確認をお願いいたします。 <https://www.zkai.co.jp/home/z-app/correspond.html>
また、ご受講にあたってはメールアドレスが必要ですが、ご利用のメールアドレスの設定によっては、自動的に迷惑メールなどのフォルダに振り分けられてしまったり、Z会からのメールが受信できない場合がございます。受信設定をされている場合は、お申し込み前に下記についてご確認ください。
・ドメイン指定受信を設定している場合 →「zkai.co.jp」を個別に受信したいドメインに設定してください。
・指定アドレス受信を設定している場合 →「z-apps@zkai.co.jp」「asteria@zkai.co.jp」を個別に受信したいメールアドレスに設定してください。



■申込について

Q 月の初めに申し込んだ方がお得ですか？

A いつお申し込みになっても、お申し込みになったその日からご受講期間1ヵ月目が開始となりますので、ご安心ください。

■iPadについて

Q iPadを、Z会から購入することはできませんか？

A iPadはZ会専用Apple Storeである「Apple Online Store Z会プログラム」からZ会特別価格にてご購入いただけます。詳しくはZ会 Asteria のWebサイトにてご確認くださいことができます。
※ご購入の際には、必ずご利用環境のご確認をお願いいたします。
※Z会 Asteria は、お申し込み後すぐに受講が開始されますので、受講申込前にiPadをご用意されることをおすすめいたします。

Q 対応しているiPadの機種は何ですか？

A 対応機種は、iPad (2017年3月発売モデル/2018年3月発売モデル)、iPad Air、iPad Air2、iPad Pro (9.7インチ/10.5インチ/12.9インチ)、iPad mini2、iPad mini4となります。(2019年1月現在)
※iPad (第4世代以前)、iPhone、iPod touchでのご受講はできません。※発売間もない機種やリリース直後のOSでは、予期せぬ動作をしたり、不具合が起きたりする場合がございます。※通信速度を満たせば、モバイル回線(4G、LTE)でのご受講も可能です。※Z会 Asteria の対応端末は、Z会の通信教育タブレットコースの対応機種と異なる場合がございます。

■付属品について

Q iPadを購入すると、タッチペン(スタイラスペン)やマイク付イヤホンは付属品として付いてきますか？

A iPadを購入しても、タッチペン(スタイラスペン)やマイク付イヤホンは付属品として付いてきません。別途準備が必要です。

Q タッチペン(スタイラスペン)のおすすめは？

A タッチペンについては、価格帯などさまざまな製品が販売されていますので、製品をよく確かめたくうえで、ご購入ください。iPad Pro、iPad (第6世代)をご利用の場合は、Apple Pencilをご利用いただけます。Apple Pencilのみ、Z会専用Apple Storeである「Apple Online Store Z会プログラム」にて購入することができます。詳しくはZ会 Asteria のWebサイトよりご確認ください。

■オンラインレッスンについて

Q Online Speaking (オンラインレッスン)の実施日はいつでしょうか？

A Online Speaking は、月曜から土曜の16:30～21:30の時間帯(日本時間)に実施いたします。日曜はお休みとなりますが、祝日は実施いたします。ただし、予約できるレッスンがすべて予約済み(RESERVED)、もしくは日曜以外の休講日であるために、予約できないこともございますので、予めご了承ください。

Q TOEFLや英検などの対策は行っていただけなのでしょうか？

A Z会で設定したカリキュラムに基づきレッスンを進めますので、外部検定試験専用の対策はいたしかねます。しかし、英語で話す機会が多ければ多いほど、スピーキング力は伸びていきますし、その力は、外部検定試験のスピーキングセッションだけでなく、あらゆる場面で活用できます。

■海外受講について

Q 海外からでもZ会 Asteria は受講できますか？

A はい、ご受講いただけます。海外でご受講される場合には下記の点をご留意ください。
① App Store が対応していない国・地域ではご受講になれませんのでご注意ください。
② 通信環境は、常時接続可能なブロードバンド環境と無線LAN (Wi-Fi) 環境をご用意ください。なお、国・地域により通信環境の事情が異なります。滞在される国・地域の無線LAN (Wi-Fi) 環境については、お客様ご自身でご確認ください。
③ 通信速度はパソコンの設定画面や測定 Web サイト、アプリなどで簡単に調べることができます。実際に使用される機器、環境、時間帯で、日本のサイトへアクセスしてのご確認をおすすめいたします。
④ Online Speaking および協働学習については、受講できる日時が限られています。開講日時(日本時間)に都合をあわせることができるか必ずご確認ください。
⑤ Z会 Asteria は日本国内での使用を標準としたアプリサービスとなっております。たとえば、時刻の表記は、すべて日本時間での表示となっておりますので、海外で受講される場合にはご不便をおかけします。ご了承ください。
⑥ お客様が滞在されている国により、通信環境が不安定だったり、アクセス制限等が設けられている場合もございます。

お申し込みの流れ〈完了したその日からすぐに学習が始まります〉

1 iPadを準備し、インターネット環境を確認する

※Z会 Asteriaを受講される方で、iPad 端末をお持ちでない方は、Z会員専用の販売サイトより特別価格でご購入いただけます。詳しくはZ会 Asteria Web サイトよりご確認ください。

2 Webサイトにてお申し込み手続きをする

<https://www.zkai.co.jp/home/z-asteria/proposal/index3.html>



3 お申し込み完了

Asteria アプリを iPad にダウンロードして、学習にお取り組みください。

英語4技能講座、数学新系統講座は、はじめに学習設定を行うことで、ご自身にぴったり合った問題が出題されます。

※お申し込みいただいた日が、お客様それぞれの利用開始日となります。契約は支払い方式に応じて、1ヵ月・6ヵ月・12ヵ月の期間でのご受講となります。契約内容の変更・停止のお手続きをされない限り、最初にお申し込みいただいた期間と同じ期間で契約が更新され、次の契約期間が開始される仕組みとなっています。

受講料

*受講料金は消費税8%下での料金です。消費税の変更に伴い、変更する場合があります。

【英語4技能講座】

オンラインレッスンの1ヵ月あたりの回数について、ご希望に合ったプランをお選びください。

オンラインレッスンをその月に受講しきれなかった場合でも、英語4技能講座ご契約中は発行日から180日のあいだ受講が可能です。

※Speaking以外の技能はすべて、どれだけ学習を進めても1ヵ月あたりの価格は定額です。

	12ヵ月一括払い	6ヵ月一括払い	毎月払い
Online Speaking【月2回】プラン	57,594円 (1ヵ月あたり 4,800円)	34,798円 (1ヵ月あたり 5,800円)	7,800円
Online Speaking【月4回】プラン	81,596円 (1ヵ月あたり 6,800円)	46,799円 (1ヵ月あたり 7,800円)	9,800円
Online Speaking【月6回】プラン	105,598円 (1ヵ月あたり 8,800円)	58,800円 (1ヵ月あたり 9,800円)	11,800円

(税込)

【数学新系統講座】

※どれだけ学習を進めても1ヵ月あたりの価格は定額です。

12ヵ月一括払い	6ヵ月一括払い	毎月払い
57,594円 (1ヵ月あたり 4,800円)	34,798円 (1ヵ月あたり 5,800円)	7,800円

(税込)

【総合探究講座】

※どれだけ学習を進めても1ヵ月あたりの価格は定額です。

12ヵ月一括払い	6ヵ月一括払い	毎月払い
69,595円 (1ヵ月あたり 5,800円)	40,798円 (1ヵ月あたり 6,800円)	7,800円

(税込)

■ご受講前の準備・契約について

下記のWebページに、受講前にご準備いただきたい内容の最新情報をまとめています。お申し込み前に必ずご確認ください。

<https://www.zkai.co.jp/home/z-asteria/proposal/index.html>



お問い合わせ先

お問い合わせの際は、①講座名 ②お名前 ③ご用件 の3つを最初にお知らせください。

◎推奨端末・ご利用環境に関するお問い合わせ

Z会テクニカルサポートセンター

電話：0120-636-322 (フリーダイヤル・通話料無料)

[受付時間：月曜日～土曜日 10：00～20：00 (年末年始を除く、祝日も受付)]

◎その他、受講に関するご相談など

Z会 Asteria 事務局

メール：z-apps@zkai.co.jp

電話：0120-83-0022 (フリーダイヤル・通話料無料)

[受付時間：月曜日～土曜日 10：00～12：00、13：00～18：00 (年末年始を除く、祝日も受付)]

*お申し込みは全てWEB上で承っております。

*「Asteria」の商標は、アステリア株式会社のライセンスにもとづき使用されています。

*iPadはApple, Incの商標です。

■個人情報の取り扱いについて

- 事業者名
株式会社Z会
- 個人情報保護管理者
個人情報保護対策委員会 個人情報保護管理責任者
連絡先：privacy@zkai.co.jp
- 個人情報の利用目的
a. 開示対象個人情報
(1) サービスご利用のお客様
イ、Z会グループ企業(注)の商品・サービス・催事・求人等のご案内
(注) Z会グループ企業の詳細につきましては、こちら (https://www.zkai.co.jp/home/info/policy_group.html) をご覧ください。
ロ、ご契約いただいたお客様に対する、教材発送・答案返送などのご契約内容の履行、お問い合わせ・ご相談への応答、意欲喚起のための活動、ご利用結果の測定、その他付帯サービスの提供。ただし、必要な情報をご登録いただけない場合、一部サービスのご提供ができない場合がございます。
ハ、商品・サービスの開発、改善のための調査・研究(アンケート送付など)
(2) (1)以外のお客様
イ、Z会グループ企業の商品・サービス・催事等のご案内、請求資料の送付、お問い合わせ等への応答
ロ、商品・サービスの開発、改善のための調査・研究(アンケート送付など)
(3) 添削者
委託業務に関する事務、連絡
(4) 採用応募者
採用選考、連絡
(5) 従業員情報
勤務管理、人事給与、福利厚生、社会保険、連絡等
b. 直接書面以外の方法によって取得した個人情報
(1) 受託業務で預かりした個人情報
受託業務遂行
(2) 通話録音情報
通話内容の確認、電話対応の品質向上
- 個人情報の提供について
お客様の個人情報は、以下のいずれかに該当する場合を除き、第三者に提供いたしません。また、提供する際も必要最低限の情報のみを提供します。
a. お客様あてにサービスや各種発送物をお届けしたり、ご連絡を差し上げたりするため、社外の協力会社等へ業務を委託する場合
b. お客様の同意がある場合
c. 法令に基づく適正な提供要求があった場合
- 個人情報の委託について
4.a. の目的でお客様の個人情報を取り扱う業務を協力会社等に委託する場合、委託先の選定基準を満たす業者に委託し、その取り扱い基準を定め、適切な教育・指導・監督を行うとともに、委託業務に関して契約を取り交わし、機密保持についても契約に盛り込みます。
- 個人情報の共同利用
Z会グループ企業(注)において、個人情報を共同して利用いたします。
(注) Z会グループ企業の詳細につきましては、こちら (https://www.zkai.co.jp/home/info/policy_group.html) をご覧ください。
a. 共同利用する個人情報の項目
本人氏名、保護者氏名、住所、電話番号、ファックス番号、メールアドレス、生年月日、性別、在学校、志望校、申込情報、成績情報等
b. 共同利用する者の範囲
Z会グループ企業
- 利用目的
(1) Z会グループ企業の商品・サービス・催事・求人等のご案内
(2) ご契約いただいたお客様に対する、ご契約内容の履行、お問い合わせ・ご相談への応答、意欲喚起のための活動、ご利用結果の測定、その他付帯サービスの提供
(3) 商品・サービスの開発、改善のための調査・研究(アンケート送付など)
d. 共同利用について責任を有する者の氏名又は名称
株式会社Z会
e. 取得方法
Web・郵送・対面等により、本人から直接書面によって取得
電話等で、本人から直接書面によらない取得
- 個人情報の利用停止、訂正の手続き
お客様からご本人の個人情報について、利用目的の通知、開示、内容の訂正、追加または削除、利用の停止、消去および第三者への提供の停止(開示等といえます)のお申し入れがあった場合、以下のとおり対応させていただきます。
※個人情報の漏洩防止のため、個人情報の開示ならびに訂正等のお申し入れを受けた際には本人確認をさせていただきます。ご本人確認ができない場合には、ご要望にお応えできない場合があります。
a. 利用目的の開示、個人情報の開示につきましては、所定の手続きによりお申し出いただくこととなります。その際は、事務に必要な費用をご負担いただくこととなりますので、予めご承知おきください。なお、お手続きの詳細につきましては、こちら (https://www.zkai.co.jp/home/info/policy_detail.html) をご覧ください。
b. Z会グループからのご案内について、送付停止のご要望をいただいた場合は、ご連絡いただき次第、停止のお手続きの間に合う時点から送付を停止いたします。
※Z会グループからのご案内の送付停止の手続きは迅速に行いますが、すでに発送準備を終えていた場合、間に合わないことがあります。
c. 個人情報の誤りに関して訂正のご連絡をいただいた場合、所定の手続きによりお受けいたします。
d. 個人情報の開示等のお申し出にお応えできない場合は、理由を明らかにして回答させていただきます
- 苦情の解決の申し出先
株式会社Z会 個人情報保護担当
E-mail：privacy@zkai.co.jp
- Cookieの使用について
Cookieという技術を使用しますと、Webサイトと利用者のコンピュータの間で情報をやり取りすることにより、利用者の訪問記録を取得したり、利用者ごとに表示を切り替えることが可能になります。Z会グループのWebサイトでは、CookieをWebサイトの利用状況(訪問回数等)を把握するために使っていますが、Cookieを利用した個人情報の収集は行っていません。
また、Z会グループでは、弊社以外のWebサイトにバナー広告等を出すことがあります。その場合は広告を掲出しているWebサイトのCookieのルールに従います。ブラウザの設定を変えてCookieを受け入れないようにしたり、保存されたCookieを削除したりすることができます。
- お預かりする個人情報について
個人情報をお預けいただくかどうかはお客様の任意です。ただし、必要な情報をご登録いただけない場合、一部サービスのご提供ができない場合があります。また、Cookieを受け入れない設定にした場合、サービス内容によっては、機能の一部に制限が発生したり、サービスを利用できなくなったりすることがあります。
- お問い合わせ窓口
●「個人情報」に関するお問い合わせ窓口
株式会社Z会 個人情報保護担当
E-mail：privacy@zkai.co.jp

